

第 20 期事業計画

(2008 年[平成 20 年]6 月 1 日～2009 年[平成 21 年]5 月 31 日)

<概要>

本学会は昭和 56 年に「流れの可視化学会」としてスタートし、平成 18 年には創立 25 周年を、平成 22 年(第 21 期)には法人化 20 周年を迎える。流れの可視化実験技術と並べて学会の両輪にすべく、「情報」の可視化の展開に重点を置き、「ビジュアライゼーションカンファレンス」を通じた活動の強化を継続している。

第 20 期においても、「情報」の可視化を最重点課題として活動を推進することにより学会の魅力をもっと幅広いものとする。最近、様々な場で議論されているように、知識の幾何級数的な増大、細分化と複雑・高度化は、専門家にとってすらその分野の知識を十分に活用することを困難にしている。このような状況を打破するためには、知の構造化が必要である。知識・情報の可視化はそのための強力なツールとなる。

学会の英文論文集 JOV は国際的にも高く評価されつつあるが、国際的情報発信をもっと拡大するため一層の充実を図っていくとともに、時代の趨勢に合わせて E-journal 化を推進する。また、和文論文集についても更なる拡充を図る。

JABEE に基づく大学教育プログラムや技術士の継続教育については、講習会を継続的に開催するなど、引き続きその展開に協力するとともに、学会の意見を反映させていく。

このような活動を継続して行うためには、会員の増強を引き続き進めるとともに、学会の財政基盤の強化を緊急に進める必要があると考えており、具体的な方法の検討を行っていく。

I 会誌等出版物の発行

1. 会誌の発行:会誌第 28 巻 110 号～第 29 巻 113 号, 第 28 巻増刊号 I (第 36 回可視化情報シンポジウム), 第 28 巻増刊号 II(全国講演会釧路 2008), 第 28 巻増刊号 III(第 14 回ビジュアライゼーションカンファレンス)
2. 論文集のオンライン発行: 毎月
論文集 CD-ROM の発行: 年 1 回
3. 英文論文集の発行: 英文論文集 “Journal of Visualization” Vol.11, No.3～Vol.12, No.2 の発行
4. 新規書籍の発行: (1)可視化技術ハンドブックの発行
5. 映像作品の製作・編集
(1) 学会映像集第 3 作「生物と可視化(仮称)」の製作
6. その他の刊行物: 第 9・10 回講習会テキスト
7. 可視化情報学会ホームページの更新

II 総会, シンポジウム, 講演会の開催

1. 総会, シンポジウム, 講演会等の開催および準備
 - (1) 第 20 期通常総会(2008 年 7 月 22 日, 東京・工学院大学)の開催
 - (2) 第 36 回可視化情報シンポジウム(2008 年 7 月 22 日～23 日, 東京・工学院大学)の開催
 - (3) 全国講演会(釧路 2008) (2008 年 10 月 10 日～11 日, 北海道・釧路市生涯教育センター)の開催
 - (4) 第 14 回ビジュアライゼーションカンファレンス(2008 年 10 月 29 日, 東京・タイム 24)の開催
 - (5) 全国講演会(山形 2009) (2009 年 10 月 24 日～25 日, 山形・山形大)の開催準備
2. 国際シンポジウム等の開催・協力
 - (1) 13th International Symposium on Flow Visualization(ISFV13)(2008 年 7 月 1 日～4 日, Nice France)への協力
 - (2) The 10th Asian Symposium on Visualization(10ASV) (2009 年, India)への協力
 - (3) The 11th Asian Symposium on Visualization(11ASV) (2011 年 6 月 6 日～8 日, 新潟)の開催

準備

- (4) International Conference on Flow Control, Measurements, and Visualization (FLUCOME2009),(2009年, Russia.)への協力

3. 講習会の開催・企画

- (1) 第9回定期講習会「可視化フロンティア」(2008年11月予定)の開催
- (2) 第10回定期講習会「可視化フロンティア」(2009年5月予定)の開催

III 賞の授与等

1. 学会賞およびシンポジウムにおける賞の授与

- (1) 可視化情報学会論文賞,技術賞および奨励賞
- (2) 可視化情報学会映像賞
- (3) 第36回可視化情報シンポジウムにおけるグッドプレゼンテーション賞
- (4) 可視化情報学会全国講演会(釧路2008)におけるグッドプレゼンテーション賞

2. 名誉会員の推挙

3. シニア会員の推挙

IV 委員会・研究会等の活動

1. 委員会および小委員会の活動

(1) 委員会:

総務委員会, 編集委員会, 企画委員会

(2) 小委員会等:

総務委員会関連:

産学連携推進評議会, 表彰部会, 可視化情報センター, JABEEセンター

編集委員会関連:

会誌編集小委員会, 論文集編集小委員会, 英文論文集編集小委員会, 可視化技術ハンドブック編集小委員会, 映像ライブラリ編集小委員会,

企画委員会関連:

可視化情報シンポジウム実行委員会, 全国講演会(釧路2008)実行委員会, 全国講演会(山形2009)実行委員会, ビジューアライゼーションカンファレンス実行委員会, アジア可視化情報シンポジウム(ASV)国内委員会, 流体の計測・制御と可視化に関する国際シンポジウム(FLUCOME)国内委員会, 流れの可視化国際シンポジウム(ISFV)国内委員会, 粒子画像流速計(PIV)国際会議国内委員会, 文化フォーラム実行委員会, Pacific Vis 国内委員会

2. 研究会の活動

- (1) 風洞研究会(主査: 高木通俊)
- (2) 可視化情報教育研究会(主査: 青木克巳)
- (3) ビジューアルデータマイニング研究会(主査: 小山田耕二)
- (4) マイクロビジュアルゼーション研究会(主査: 杉井康彦)
- (5) ウェブレットと知的可視化の応用研究会(WSV研究会)(主査: 李鹿輝)
- (6) 先端可視化研究会(主査: 小野謙二)
- (7) サイエントフィクアート研究会(主査: 中山泰喜)
- (8) PIV研究会(主査: 岡本孝司)
- (9) 可視化検定協議会(主査: 岡本孝司)
- (10) みえる化研究会(主査: 横野泰之)

V 共催・後援・協賛

1. 共催

- (1) 第27回混相流シンポジウム(2008年8月8日~10日, 日本混相流学会)
- (2) 第7回JFPSフルードパワー国際シンポジウム(2008年9月16日~18日, 日本フルードパワーシステム学会)
- (3) EcoDesign2008(2008年12月11日~12日, エコデザイン学会連合)

2. 後援

- (1) 2008年度上智大学ビジュアルセッション講座(2008年4月17日～2009年1月22日,日本SGI(株))
- (2) 画像情報教育振興協会 2008年検定試験(2008年7月13日・11月30日,画像情報教育協会)
- (3) 計算力学の基礎から応用まで(2008年8月28日～9月5日,神奈川科学技術アカデミー)
- (4) 次世代スーパーコンピューティング・シンポジウム2008(2008年9月16～17,理化学研究所)
- (5) 2nd International Forum on Heat Transfer(2008年9月17日～19日,日本伝熱学会)
- (6) 第17回日本バリエーション学会学術集会(2008年10月31日～11月1日,日本バリエーション学会)
- (7) 立体映像産業展 2008(2008年12月3日～5日,立体映像産業協議会)

3. 協賛

- (1) 第14回画像センシングシンポジウム(2008年6月11日～13日,画像センシング技術研究会)
- (2) 日本実験力学学会 2008年度年次講演会(2008年6月30日～7月2日,日本実験力学学会)
- (3) 3次元画像コンファレンス 2008(2008年7月10日～11日,3次元画像コンファレンス2008実行委員会)
- (4) 第7回内燃機関のモテリングと診断に関する国際会議(2008年7月28日～31日,日本機械学会)
- (5) 機械週間(2008年8月1日～7日,日本機械学会)
- (6) 機械の日(2008年8月7日,日本機械学会)
- (7) 第27回日本医用画像工学会大会(2008年8月5日～6日,日本飯井鶴画像工学会)
- (8) 混相流年会講演会 2008(2008年8月8日～10日,日本混相流学会)
- (9) 第14回流れのふしぎ展(2008年8月16日～17日,日本機械学会)
- (10) 第4回微粒化セミナー(2008年9月2日～3日,日本微粒化学会)
- (11) 日本流体力学会年会 2008(2008年9月4日～7日,日本流体力学会)
- (12) 第33回結晶成長討論会(2008年9月11日～13日,日本結晶学会)
- (13) 日本機械学会関西支部第297回講習会(2008年9月25～26日,日本機械学会関西支部)
- (14) 第56回レゾナンス討論会(2008年10月6日～8日,日本レゾナンス学会)
- (15) 第51回自動制御連合講演会(2008年11月22日～23日,計測自動制御学会)
- (16) 2008年度計算力学技術者認定事業(2008年12月13日,日本機械学会)
- (17) AFI/TFI-2008(2008年12月19日～20日,東北大学流体科学研究所)
- (18) 平成20年度衝撃波シンポジウム(2009年3月17日～19日,日本衝撃波研究会,JAXA宇宙科学本部,東北大学流体科学研究所)